

二 現下の諸狀勢

勢の圧迫

千九三二年の滿洲事變に依る對支
強との軋轢を愈々光銳ならしめ
起ルる軍需工業制産に依る国内無産階級の犠牲を益々加
重強行せしインフレーション景氣に依る實質的の貨幣底下と
ナリ勞働階級の生活は極度の窮乏の陞にある。

千九三三年を轉換期として起ルる左右民衆主義者のフアツ
シヨ化と熱病的な大衆のフアツシヨ化に屈せず一層強化す
ストライキ斗争の増大と農民斗争の激化はプロレタリアートの
逆轉的の躍進を促し資本主義の根幹を突き階級斗争は
更に一段の光銳化を發現する。

No. 13

No. 14

かゝる国内勞働階級の光銳化と六月ジュネトヴに開カれる
才十八日國際勞働會議に上程されるソシアルカンピニ
グ問題に日本勞働組合會議幹部諸公は政府資本家業
者各代表の円卓會議にワシントン三條約案批准促
進運動を試みなければならぬと提言し心々すうに我
國の低賃銀を隱さんことに汲々としてゐる。

斯る我が國勞働階級に對する背信行爲をなせる御用
団体、裏切と支配階級の彈圧を跳て円卓會議なる
四疊半式談に反対し戰鬥的勞働階級の階級斗争は
更に一段光銳化し政治的躍進を促してゐる。